

結構冒険もされたのですね。今でも冒険は好きですか。

やっぱり旅行に行くと...『ここへ行くならこの道で』って決められた道じゃない自分のルートを探したい。でも、今だったら熊に会いそうね！



阿川さんだったら熊を巧みに退散させそうですが...本当に冒険が好きなんですね。そういうところが日頃の健康に繋がっているのでしょうか。いつも好奇心がおありで、いつも笑顔でとても楽しそうにお見受けします。

笑みを絶やさずっていうんじゃなくて、バカみたいに笑っちゃうことを探すのが好きなんです。中学校時代、友達と何かを企んでは先生を騙そうとしていたころのように、一生笑えることを探して生きていきたいと思っています。

先生をどういう風にして騙したことがあるんですか。



定番ですが、数学の先生が教室に入ってくると上から黒板消しが落ちてくるやつ。他には、クラスメイトと共謀して、みんなで目覚まし時計を持ってきて、1分ごとにアラーム設定。授業中ずっとアラームがどこかで鳴ってるとか...。

でも、先生も意地を張って、絶対怒ったりなさらなかった。とにかくいつも笑いを探している学生時代でした。



その積み重ねが、今の佐和子さんを作ってるというか、元気さを作ってるのかもしれないですね。

以前からいろいろなところで話しているのですが、うちの父はすごく厳しかったんです。友達と比べて、私はなんて不幸なんだろう。こんな家にいたくない！

そんなすごく辛く悲しい思いを夜中に電話で友達に打ち明けたんです。でも友達

「それです、明日どうする？」って...全然聞いてないのね。

その時に、人の不幸は他人には大したことはないんだっていうことを悟りました。



いつしか自分の家の辛い出来事を話すと意外に人に受けるという『味』を知っちゃったんですね。

私の『不幸話』は、人の『笑い話』になる、、、。

不幸と思うことも笑いに変えるしかないと思い始めました。